

長岡京市神足～京都市南区

●歩行距離／8.6km ●標準歩行時間／2時間09分 ※1時間4kmで計算しています

長岡京市から向日市を抜けて京都市内へ。長岡宮跡を過ぎ東向日駅を越えて進み、桂川にかかる久世橋を渡ります。橋のたもとの堤防からは、北に愛宕山、北山、比叡山の山並みが、東西に東山と西山の峰々が、南には平野と360度のパノラマが楽しめます。橋を渡るとゴールはもう目の前です。



乙訓寺 おとくにでら



真言宗豊山派長谷寺の末寺で、推古天皇の勅願によって聖徳太子が創建したと伝えられる寺。延暦4年(785)、長岡宮造営の長官・藤原種継が暗殺された事件で捕らえられた早良親王が幽閉された寺としても知られています。毎年4月下旬から5月上旬にかけて、約2,000株におよぶボタンが境内で咲き誇ります。

長岡宮跡 ながおかぐうあと



1200年以上昔、日本の政治、文化の中心が向日市にありました。延暦3年(784)、桓武天皇は平城京から乙訓郡(向日市、長岡京市、大山崎町、京都市の一部)に都を遷し長岡京としました。向日市では、天皇が政治を司った長岡宮の「大極殿」「小安殿」の史跡が発掘された長岡宮の「大極殿」「小安殿」の史跡が発掘された長岡宮の史跡として桜の美しい公園となっています。

福田寺 ふくでんじ



奈良時代の養老2年(718)に行基菩薩が開祖したと伝えられています。「福田寺縁起書」によると、行基菩薩が夢のお告げにより、この地で「釈迦如来」「地藏菩薩」の二尊を刻み精舎を建立しました。歴代住職には、平安時代末期の百人一首の詠み人で有名な歌人、俊恵法師がいます。

東寺 とうじ



正式には教王護国寺といい、世界文化遺産にも登録されている寺。平安京遷都の際に建立され、後に嵯峨天皇によって空海に下賜されました。以降、真言密教の根本道場として発展しました。また、伽藍の配置は創建当時のままで、重要文化財に指定されている講堂、国宝である金堂があります。